

開催行事報告

新盆供養・盂蘭盆会法要

令和元年7月13日(土)

あなたは一人じゃない
見守っている人がいます

用意した椅子が足りず、急ぎよ席を追加して始まった今年の新盆供養は、安本由道ご住職を導師として12時から営まりました。

午後1時から、静岡県島田市・利生寺ご住職の尾村眞道老師による法話が行われました。老師は境内のテントでよく見かける和尚さんのイラストが入った法語を書かれています。「日常生活が当たり前ではなく、とても貴重ありがたいことだと気付かなければ、私たちは思いやるといふ心を忘れてしまいます。感謝する心を忘れずに」と諭されました。

2時から盂蘭盆会法要が営まれ、卒塔婆を手に皆様はご先祖の霊を迎えに行かれました。



(上) 自ら書いた法語を掲示して「日々感謝を忘れずに」と諭す尾村老師

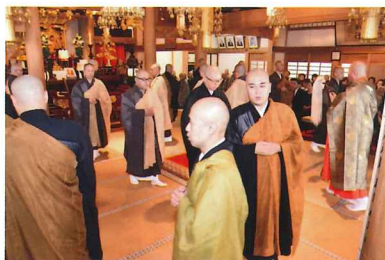


(下) 新盆供養後の境内

大施餓鬼会法要

令和元年7月23日(火)

梅雨明け間近の晴れの日に
厳かな読経が響き渡りました



法話の水庭浩章老師

すべての仏様、ご先祖様はもちろん、生きとし生けるもの、私たちが口にするすべてのものに感謝し供養する当山最大の行事・大施餓鬼会法要が、安本由道ご住職を導師に40名の僧侶により盛大に挙行されました。

法要に先立って行われた法話では、山梨県甲府市の長泉寺ご住職・水庭浩章老師が「池に咲く蓮の花のように、私たちはそれぞれ別々の存在ですが、水面下の泥中ではみな同じ蓮根でつながっています。横のつながりだけでなく、亡き先祖とも縦でつながっています。私たち一人一人は数えきれないほどの命の支えがあって、今の自分があることを自覚して生きていくことが大切です」と話されました。

秋彼岸会法要

令和元年9月23日(月・祝)

秋晴れの参拝日に
恵まれました

台風17号が日本海に抜け青空が広がる中、境内では「きのこ汁」が振る舞われました。法要に先立ち午後1時から始まった落語会には三遊亭ときん師匠が初のご出演。大田区中央出身で、若手落語家のホープです。古典落語の名作「時そば」と「親子酒」の二題を熱演し、締めには寄席踊り「奴さん」「姉さん」を軽やかに披露、参拝者から大きな拍手が送られました。



午後2時から法要が営まれ、終了後に安本由道ご住職から「今年には台風の災害が多い年ですが、備えあれば憂いなしといえます。水の備蓄など日頃から自分で身を守る準備をしておきましょう」とのお言葉がありました。



踊りを披露する三遊亭ときん師匠